

【労働者派遣の記載例】

〇〇年〇〇月〇〇日

山梨県労働委員会
会長 〇〇 〇〇 様

申請者 〇〇 〇〇

※個人の場合は、署名又は記名押印

※法人の場合は、法人の名称及び代表者の職・氏名を
署名又は記名押印

あ っ せ ん 申 請 書

次のとおり個別的労使紛争に係るあっせんで申請します。

労働者	住 所	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号	電話番号	000-000-0000 ※常に連絡のとれる電話番号
	氏 名	〇〇 〇〇	雇用形態	派遣社員(アルバイト、パート等)
使用者	事業所の所在地	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 ※労働者が働いている(いた)事業所の所在地	事業所名	〇〇株式会社〇〇支店 (支店長〇〇 〇〇) (電話〇〇部〇〇課〇〇係 000-000-0000)
	本社等の所在地	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 ※本社等の所在地	本社等の名称	〇〇株式会社〇〇本社 (電話000-000-0000) ※本社等の名称
	代表者の職・氏名	代表取締役〇〇 〇〇 ※社長など代表者の職・氏名	事業の種類	労働者派遣業 ※業種
あっせん事項		この会社(派遣元)で働く気はないが、働けば貰えるはずだった3ヵ月分の賃金相当額のお金を払って欲しい。		
当事者の主張	労働者	6ヵ月契約のところ3ヶ月しか働けなかったのだから、その分の賃金を得ることができず、損害が生じた。		
	使用者	7月末時点で、8月いっぱい契約が終了する旨を伝えておいたので、損害を賠償する義務はない。		
申請に至るまでの経過		〇年〇月〇日 面接会で派遣スタッフ登録を行った。 同年6月1日 6ヵ月契約で派遣先で働くことになった。 同年8月30日 派遣先会社の上司から、仕事がなくなったので来月は来なくてよいと言われ、派遣元会社の上司からも、もう行かなくてよいと言われた。その後、別の会社を紹介することもなかったため、何度も働かせて欲しいと言ったが、「待ってくれ」と言うばかりでさらに3ヵ月が過ぎた。 同年〇月〇日 本社の人事課長に連絡を取り、他の派遣先を紹介するよう申し入れたが、聞き入れてもらえなかった。		
参考事項		同年〇月〇日、山梨県中小企業労働相談所の相談を受けた。 労働契約書(有・無) 就業規則(有・無) 労働組合(有・無) 就業開始日 〇〇年〇〇月〇〇日(勤続年数〇年) 対応者 〇〇本社 人事課長 〇〇 〇〇		